

事業報告

事発番号:事13-010

事業名: 一般社団法人京都府臨床検査技師会市民公開講演会

日 時: 平成25年11月17日14:00~17:00

場 所: 京都リサーチパーク西地区4号館ルーム1

主 題1: 最新ケニアHIV/エイズ事情 現状と課題

講 師1: 稲田頼太郎博士(NPO法人イルファ副理事長)

主 題2:

講 師2:

参加数: 総数43人 京臨技会員:26人

報告者: 荒賀智永(綾部市立病院 医療技術部臨床検査科)

以下、講演内容など

市民公開講演会として市民の方、会員の方にHIV/エイズについて、アフリカケニアでのHIV事情の話を通して、関心を持ってもらうということで企画しました。内容は「最新ケニアHIV/エイズ事情 現状と課題」というタイトルでNPO法人イルファ副理事長 稲田頼太郎先生にご講演いただきました。講演内容は、アメリカでのHIV/エイズとの出会い、エイズ研究、NPO法人イルファ(稲田-ラングAIDS財団)の設立、NPO法人イルファが行ってきた日本の医療従事者のHIV/エイズ研修内容、アフリカでのHIV/エイズ事情や稲田先生がHIV/エイズ医療体制構築の為に現在活動されている、ケニアでのHIV/エイズ、スラム地域の人々の生活環境、HIV/エイズへの偏見、差別について実際にあった出来事などを話していただいた。現地での問題点として、現地の医療従事者の抗HIV薬服薬指導不足による耐性株出現、HIV/エイズ以外の性感染症(梅毒、B型肝炎)の問題、抗HIV薬の富裕層への転売、現地の医療従事者への教育などをあげられていました。

以上の内容について、稲田先生から講演開始から終わりまで情熱を持って聴衆者の心に響く語り口でご講演いただきました。

議案書事業報告用

市民公開講演会として市民の方、会員の方にHIV/エイズについて、アフリカケニアでのHIV事情の話を通して、関心を持ってもらうということで企画しました。内容は「最新ケニアHIV/エイズ事情 現状と課題」というタイトルでNPO法人イルファ副理事長 稲田頼太郎先生にご講演いただきました。講演内容は、アメリカでのHIV/エイズとの出会い、エイズ研究、NPO法人イルファ(稲田-ラングAIDS財団)の設立、NPO法人イルファが行ってきた日本の医療従事者のHIV/エイズ研修内容、アフリカでのHIV/エイズ事情や稲田先生がHIV/エイズ医療体制構築の為に現在活動されている、ケニアでのHIV/エイズ、スラム地域の人々の生活環境、HIV/エイズへの偏見、差別について実際にあった出来事などを話していただいた。現地での問題点として、現地の医療従事者の抗HIV薬服薬指導不足による耐性株出現、HIV/エイズ以外の性感染症(梅毒、B型肝炎)の問題、抗HIV薬の富裕層への転売、現地の医療従事者への教育などをあげられていました。

以上の内容について、稲田先生から講演開始から終わりまで情熱を持って聴衆者の心に響く語り口でご講演いただきました。

議案書次年度計画用

次年度は機会がありましたら、市民の方、会員の方がHIV/エイズについて関心を持ってもらうために企画できればと考えています。